

平成30年度 第14回益富地域会議（わくわく事業公開審査会）会議録

日時	平成31年3月17日（日） 午前9時30分～午前12時00分
場所	高橋コミュニティセンター 大会議室
出席者	地域会議委員：天野紀規、小川 隆、角田則義、加藤康隆、久米鏡子、 後藤利範、中川孝義、福原一弥、南 道香、森川知代美、 脇本信雄 (欠席)：末永義博
来賓	：吉野英国市議 益富交流館 近藤館長 益富地区区長会 各自治区長または代理人
	わくわく事業申請団体：16団体
高橋支所	：三浦支所長、加藤副支所長、塚田担当長、尾上主査、加藤特任

【第1部 公開審査会】 午前9時30分～11時

進行：脇本副会長

1 開会

会長あいさつ

来賓紹介

2 基礎コース（補助金20万円以下）団体発表 16団体

団体を2グループに分け、各団体1名が前に整列し、順番に団体紹介と事業内容を発表(1団体3分以内)

質疑応答・グループごとに団体発表後、審査員（地域会議委員）による質疑応答。

グループごとに10分

審査員（地域会議委員）による質疑応答

3 閉会

【第2部 審査会議】 午前11時15分～12時

進行：事務局

1 各団体の採択・不採択の発表（事務局）

(1) 採択基準について説明

平成27年度以降で3回目の申請まで

評価項目⇒「公共性・公益性」「実現性・妥当性」「発展性・将来性」の3項目

評価基準⇒3段階評価の点数制とし、最高点と最低点を除いた審査員の平均点を

算出する。ただし、「公共性・公益性」については点数を倍とする。

採択基準⇒「公共性・公益性」の平均点が4点以上かつ3項目の合計平均点が8

点以上。

平成27年度以降で4回目以上の申請

評価項目⇒「公共性・公益性」の1項目

評価基準⇒3段階評価の点数制で点数を倍にする。

採択基準⇒6点をつけた審査員が2/3以上。

(2) 審査結果の発表と補助条件等の協議

全16団体の評価点の集計結果を報告。

各採択団体の補助条件等について協議。

番号	団体名	コース	適否	補助条件
1	花みどり	基礎	適	・特になし
2	花咲かボラさん	基礎	適	・特になし
3	クリーン志賀ニュー	基礎	適	・特になし
4	五ヶ丘そば倶楽部	基礎	適	・自主練習にかかる費用は補助対象外とする。 ・大ザル等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。
5	益富子どもと文化をつなぐ会	基礎	適	・特になし
6	大見町を愛する会	基礎	適	・剪定鋏等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。 ・燃料代は自家用車への給油は対象外とする。
7	五ヶ丘ふるさとづくりの会	基礎	適	・公園や遊歩道の整備にあたってはその管理者と協議し了承を得ること。 ・枝切り鋏等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。
8	益富蛍友会	基礎	適	・備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
9	宮前の森林(もり)倶楽部	基礎	適	・カラビナ等消耗品、備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
10	五ヶ丘4丁目お茶会クラブ	基礎	適	・ホットプレート等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。
11	カフェくさぶえ	基礎	適	・エプロン等消耗品、備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
12	卓友ファミリー	基礎	適	・卓球球出し機、練習ボール、ボール回収網各購入費は補助対象外とする。 ・ラージボール等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。
13	ちょい悪おやじの会	基礎	適	・苧込鋏等消耗品、備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
14	志賀町ふるさとサロン	基礎	適	・エプロン等消耗品、備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
15	五ヶ丘4丁目「思いやり隊」	基礎	適	・鋏等消耗品、備品は個人管理ではなく団体管理とすること。
16	くさぶえそば倶楽部	基礎	適	・そば打ち道具等消耗品は個人管理ではなく団体管理とすること。